

## 第4学年1組 道徳科学習指導案

平成30年9月27日(木)5校時

主題名：感謝する心 B(8)感謝

教材名：しょうぼうだんのおじいさん(東京書籍)

男子18名 女子20名 計38名

### 主題について

指導者 小川 美恵子

#### ねらいとする価値

よい人間関係を築くためには、互いを認め合うことが大切であるが、その根底には、相手に対する尊敬と感謝の念が必要である。人々に支えられ、助けられて自分が存在するという認識に立つとき、相互に尊敬と感謝の念が生まれてくる。感謝の気持ちは、人が自分のためにしてくれている事柄に気付くこと、それはどのような思いでしてくれているのかを知ることによって芽生え、育まれる。中学年の発達段階では、その対象を地域の人や現在の生活の礎を築いた高齢者に広げ、道徳科の授業で補充、深化、統合させ、自分も人々や公共のために役立とうとする心情や態度につながるように指導をしていくことが大切である。

#### 児童の実態

- ① 児童はこれまでに「伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度」の内容項目で、戦争の大火から町を守った大イチョウへの、町の人々の思いを考慮を通して、地域のよさを考えることや郷土を大切にしようとするについて学習している。
- ② 本学級の児童は、家族や日頃お世話になっている身近な人々に対しては、感謝の気持ちをもつ児童が多い。しかし自分たちの安心・安全な生活の実現のために働く人々や現在の自分たちの生活を築き、守り伝え、発展のために努力を重ねてきた高齢者などの先達の存在には気付かなく、尊敬と感謝の念をもって接するまでに至っていない。
- ③ 道徳科の授業では、友達のいろいろな考えに触れ合うことが好きで、他の授業より発表する児童が多い。また、学習後の感想や気付きなどを書く活動では、価値理解の深まりを感じ、今後に生かそうとする児童が増えてきた。

#### 考え、議論する道徳の時間を充実させるために

##### ○ 総合的な学習の時間や他教科と道徳科の授業を関連させ、体験活動を生かした道徳学習プログラムの作成

児童は、総合的な学習の時間に、「自然災害を知り、海田町を守ろう～みんなの命守り隊～」の学習において、防災の取組を行っている。その中で、広島県土木建築局砂防課の方を招いて話を聞く活動を行った。本校は、南部地区に面しており、自然災害の中でも特に土砂災害の危険性が高い地域である。海田町土砂災害ハザードマップによると校区の約半分が土砂災害危険地域に指定されている。実際、7月の豪雨災害では、甚大な被害を受け、家の中に土砂が入ってきたり、駐車場の車が土砂で埋もれたりするなど、自然災害の恐ろしさを目の当たりにし、自分たちの命を守るために、防災の必要性を強く感じている児童が多い。さらに、家族や地域の人が、土砂をよけるために協力する姿を見て、自分も何かできることをしたいという思いも強くなっている。道徳科「ふるさとを守った大イチョウ」では、東京都墨田区にある飛木稲荷神社の、500年も生きている大イチョウについて学習した。この大イチョウには、昔から語り継がれた話や出来事を物語る傷跡がある。ここでは、戦争の大火から町を守ってくれた大イチョウに対する町の人々の心をじっくりと考えることを通して、地域のよさを考え、郷土を大切にしようとする心情を学習した。社会科「すみよいくらしをつくる～命とくらしをささえる水～」では、海田町の水源である瀬舞川について、「瀬舞川を楽しむ会」で活動されている中村幸春さんから、瀬舞川の魅力について話を聞く活動を行った。その際、瀬舞川の自然を守るために海田町で埋容師をしながら活動されているボランティア精神に触れることができた。今回の研究授業では、これらの学習を踏まえて、道徳科「しょうぼうだんのおじいさん」の授業を行い、自分の仕事があるのにも関わらず愛着のある町を守るために、夜遅く消防の訓練をしているおじいさんの思いを考えさせることを通して、町を守るために行動している人のすばらしさに気付かせる。そして、自分の生活を振り返らせる際には、地域で町のために行動している人や、社会科「すみよいくらしをつくる～命とくらしをささえる水～」で、ゲストティチャーとして来校してくださった中村幸春さんを想起させ、町や自分たちのためにしてくれている事柄を振り返る。最後に、中村さんがどんな思いや願いで瀬舞川を守る活動をしているのか、ビデオレターで自分の心情を語る中村さんの生の声を聞かせ、児童の心に響く終末を工夫する。自分たちの生活は、それを築き、守り伝え、発展のために努力を重ねてきた方の上に成り立っていることに気付かせ、自分たちの生活を支えている人々を尊敬し感謝する心情を育てていきたい。そして、道徳的実践の場として、総合的な学習の時間に「みんなの命守り隊発表会」を開き、自分や家族の命、海田町を守るために、防災の取組で学んだことを伝える学習を仕組み、そこで、相手のことを考えた実用的な防災グッズを調べたり作ったりしたことを工夫して伝える活動を通して、人に喜ばれる体験をさせ、公共のために役立とうとする心情や態度の育成につなげていきたい。

## 本時の学習

### 2 本時のねらいと授業の展開

#### (1) 本時の目標

なぜ、パン屋のおじいさんは、パン屋という仕事があるのに、消防団の仕事もやっているのかを考えることを通して、町を守るために行動することの大切さに気づき、自分たちの生活を支えている人々を尊敬し、感謝する心情を育てる。

#### (2) 本時の学習展開


過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □考え・議論する時間の工夫 *評価
導入	1 消防団について話し合う。 ○ 消防団を知っていますか。 ・ お父さんが消防団に入っている。 ・ 土砂災害が起こった時、土砂を運んでいた。 ・ 地域のお祭りでみんなのお世話していた。	◇ 消防団について教師が簡潔に説明し、本時のテーマへの方向付けをする。 ・ 日頃はそれぞれ自分の仕事をもって生活しているけど、火災時、消防ポンプ自動車などでいち早く災害現場へ駆けつけ、消火活動や人命救助、避難誘導などの活動をする。(出動した際は、自治体で違うが、多少のお金ももらえる。) ・ 水難事故や行方不明者などの捜索活動を行っている。 ・ 災害が発生したときばかりでなく日頃から、春や秋の火災予防運動の啓発広報や、水防訓練、火災防御訓練などを行い、災害に備えている。
テーマ 町を守るために行動している人について考えよう。		
展開前段	2 資料について考える。 ○ けんいちがパン屋のおじいさんが消防団の仕事をしていることを聞いて、どんなことを考えたでしょう。 ・ パン屋のおじいさんが消防団の仕事もしているなんて知らなかったなあ。 ・ 二つの仕事をしていて大変そう。 ・ どうして消防団の仕事をしているのかなあ。 ・ 消防団の仕事は、町を守るための大切な仕事なんだな。  ● なぜ、パン屋のおじいさんは、パン屋という仕事があるのに、消防団の仕事もやっているのでしょうか。 ・ 自分が暮らしている町を守りたいから。 ・ 自分の町が好きで、火事で失いたくないから。 ・ 町を守るために、自分ができることがしたいから。 ・ 消防団の仕事にやりがいを感じているから。 ・ 瀬野川を楽しむ会の中村幸春さんみたいに、自分が住む町に愛着があるから。	◇ 夜遅く、消防の訓練に励んでいるおじいさんを見たり、おじいさんの色々な面を知ったりしたけんいちの心を十分考えるようにする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <b>□考え、議論する時間の工夫</b>              パン屋の仕事だけでも大変なのに、なぜ消防団の仕事もするのかについて議論させ、町の人を守るために行動する人のすばらしさに気付かせ、尊敬と感謝の気持ちをもたせたい。           </div> ◇ ワークシートに書く活動に1人で取り組ませた後、ペアトークで自由に発言させる。その後全体で、多様な意見に触れられるようにさせる。  ◇ 愛着のある町を守りたいというおじいさんの思いに気付かせるために、次のような切りかえし発問を用意する。 ・ 働いて疲れているのに訓練をしているのはなぜか。 ・ 暇な時間で消防団をしているのではないのか。 ・ 人に頼まれて仕方なくしているのではないのか。 ・ 両方の仕事で働く方が、たくさんお金がもらえるから消防団をしているのではないのか。 ・ なぜお金がもらえない訓練をしているのか。  * 町の人を守るために行動する人のすばらしさに気付いている。(ワークシート、発言)

<p>展開後段</p>	<p>3 自分の生活を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ パン屋のおじいさんのように、町のために行動している人を知りませんか。また、その人のことをどう思いますか。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通安全ボランティアの人です。雨に日も風の日も毎日ぼくたちの登下校を見守ってくれてありがたいです。</li> <li>・ 瀬野川を楽しむ会の中村さんです。瀬野川を守るために、理容師の仕事をしているのに、瀬野川を守る活動をしていてすごいです。</li> <li>・ 通学路の草取りやごみステーションを掃除している人です。自分のことでないのに、町のために行動していて、ありがたいです。</li> <li>・ 土砂災害で、土砂を取り除いてくれた町の人です。休日暑い中ボランティアをしてくれて助かった。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 今まで、あまり心に留めていなかった地域の人について想起し、自分たちのためにしてくれている事柄に気づかせ、改めて、感謝の気持ちをもたせる。</li> <li>◇ 町のために行動している写真を用意し、気づきやすくする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>口徳学習プログラムとの関連</b></p> <p>海田町で理容師をしながら、瀬野川の自然を守るために活動されている「瀬野川を楽しむ会」の中村幸春さんが、どんな思いや願いで瀬野川を守る活動をしているのかを語るビデオレターを見せ、中村さんの思いを知らせることで、自分たちの生活を支えている人々を尊敬し感謝する心情を育てていきたい。</p> </div>
<p>終末</p>	<p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中村さんはどんな思いで活動されているのかビデオレターを見た後、本時のテーマ「町を守るために行動する人について」感じたことを道徳学習シートに書きましよう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中村さんは、瀬野川が大好きで、瀬野川を守るために行動を起こしていてすごいなあ。わたしも中村さんのような人になりたいなあ。</li> <li>・ ぼくたちの生活は、いろいろな人に支えられ、守られているんだ。本当にありがたいなあ。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ビデオレターを見て感じた素直な気持ちを何人かに発表してもらった後、自分を見つめ直す時間を十分確保し、道徳学習シートに書かせる。</li> <li>◇ 感謝の気持ちが深まっている児童や、自分にできることを進んで行おうと具体的に考えている児童の道徳学習シートを取り上げ、全体に紹介する。</li> </ul> <p>* 自分たちの生活を支えてくれている人に尊敬と感謝の念をもつことができたか。(道徳学習シート、発言)</p>

### 3 板書計画

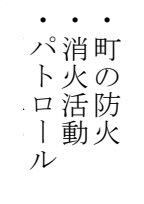
町を守るために行動

交通安全ボランティア  
さんの活動写真




自分  
が暮らす町を守りたい。  
自分ができ  
ることをし  
たい。  
・ しょうぼう  
だんの仕事  
にやりがい  
。  
みんなの笑  
顔が見たい。

ボランティア土  
砂撤去作業写真



町  
の防火パ  
トロール  
・ きびきび  
行動  
・ 夜おそく  
訓練  
・ 仕事が終  
わって


中村幸春さん  
の写真



むねがじい  
ん。  
・ 真剣な姿  
がかっこい  
い。  
・ おじいさん  
みたいにな  
る。  
・ 町のため  
にありがたい。

なぜ、おじいさんは、パン屋という仕事があるのに、消防団の仕事もやるうと思っただのでしょうか。

消防団の  
活動写真



パン作り  
顔なじみ  
・ 焼きたて  
・ え顔  
・ ニコニコ  
・ 朝が早い

（テーマ）町を守る人について考えよう。  
しょうぼうだんのおじいさん

- ・ 日ごろは自分の仕事
- ・ 火事の時、消火活動
- ・ 行方不明の人をさがす
- ・ 火災予防運動、防災活動